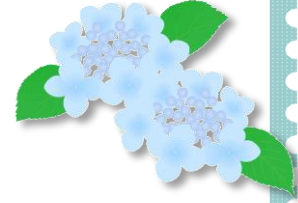


研修報告（6月）



研修コース：レベルⅠコース
実施日：平成30年6月11日
参加者：レベルⅠ研修生 15名
研修名：「援助的コミュニケーション」
研修目的：看護師としての身だしなみや対応の影響を理解し、患者個人として尊重する態度や共感的態度を身につける



研修担当より



今月の研修は、援助的コミュニケーションについて、慢性疾患看護専門看護師から講義をしてもらいました。病棟において患者とのコミュニケーション場면을プロセスレコードに起こし、患者理解の視点でグループディスカッションしました。

研修生は入職して2ヶ月経ち患者さんとのコミュニケーション場面で、どのように対応するとよいのか、どのように向き合っていくとよいのか、多くの疑問を持ちながらケアをしています。今回の研修を通して笑顔で一つ一つ丁寧に接し、患者の思い（願い）を聞いていくことの大切さや自分自身をもっと見聞を広め、さまざまな背景をもった患者に寄り添える存在となっていく必要性を学びました。



研修生の感想



- ・患者さんとの会話が難しく、患者さんに苛立ちや不快な思いをさせた経験がある、その患者さんにあったコミュニケーション方法（手段）を考える技術を磨くことが必要だと感じました。
- ・患者さんの表情や声のトーンなど見逃さないようにしたい。
- ・患者さんが今一番心に思っていることや苦しんでいることは何かを考えて、コミュニケーションを取ることでよりよい患者との関係が築けると思いました。
- ・患者に興味をもちコミュニケーションを図っていくことで、患者との信頼関係を築くことができ、患者が看護をスムーズに受け入れられるようにしたい。

